

## 盆栽 de ポンジュール

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。令和2年最初の「高松さんぽ」は、正月に相応しく盆栽の話です。

見終わった後もしばらく「ボンボン、ポボポボボン」というダンスの音楽が頭の中で鳴り響いていました。高松市が特産の松盆栽のPRのために作成したミュージック・ビデオ「盆栽 de ポンジュール」です。ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより制作され、フランスやベルギーでもロケが行われました。たか松BONSAI大使を務める大里菜桜さんが主演で、従来の盆栽のイメージの型を突き破る高松発の画期的な映像作品です。

現代は、19世紀後半に続く第二の「ジャポニスム（日本趣味）」の時代とも言われます。ヨーロッパを中心に日本のマンガやアニメをはじめとした文化や芸術、工芸品などが「クールジャパン」と言われてもてはやされています。盆栽もその要素の一つであることは間違いありません。

一方で、国内での需要は伸び悩み、本市の盆栽産地もその基盤の脆弱化が急速に進んでおり、担い手、後継者不足などが懸念される状況です。

そこで本市では、2017年7月に「高松盆栽の郷」基本構想を策定しました。盆栽文化の普及や観光振興など、盆栽産地の持続可能な発展に向けて各種施策を展開し、松盆栽では8割の生産シェアを誇ると言われる「高松盆栽」のブランドイメージを確立、向上させていこうというものです。3月には、盆栽の展示、販売、研修などのための拠点施設も国分寺町内に完成します。

海外で盆栽が普及する大きなきっかけとなったのは、1970年の大阪万博での盆栽展だと言われています。いよいよ今年には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される年。そして、5年後には再び大阪で万博が開催されます。香川県のインバウンド需要も引き続き好調であり、絶好のこの機会を逃さず、「高松盆栽」を世界に強力に発信していきたいと思っています。

挨拶の言葉はもちろん、「盆栽 de ポンジュール」。

